

品川區政ニュース

No. 75

発行所
品川區役所
品川區民会
発行人 小島 隆
発行日 毎月1日発行

我等の東京港を祝う

盛大な港まつり

品川区港まつりが去る七月十九日から三日間盛大に行われたが、東京港に東京都の支那でもあり又心算にもたとえられ、都市生活に必要物資の確保、生産物の販売に重要な機能を果たすものである。

四面海に面する我國は我々日常生活が港にたよることが甚だ多い、我が人口一〇〇万以上の大都市二市の内品川港を去る場合にもものは実にその八〇%が品川港であり、更に人口一〇〇万以下の港都市を合計するときは、全人口の半数が品川港に生活し、日常生活の大なり小なりが港に依存している。

さて我が東京港は今次戦争によって直接の被害はなかつたが、戦争中の維持修繕の停滯のため港の施設は荒廃に陥り、港の低下は著しく、加うるに我が国商船法の撤廃と相俟つて昭和二十年の出入貨物は僅か五〇万トンに過ぎない状態であつた。この状態の東京港が、米軍の進駐と共に多数の大軍用船舶を寄せねばならなかつた。

で都当局は直ちに応急復旧工事に着手し、港湾及び陸揚地の浸漬を緊急施設として内海の問題解決に努める一方平和日本の復興に要する本港の拡張計画を樹立する必要がある。昭和二十二年に建設省の国土計画で運輸省の港湾復興計画に基いて、一三八億円が決定を見るに至る。本計画は昭和二十八年までに



助役による始球式



仮装コンクール

は我が国が昭和五年の水害に復興するものとの満足を立て、東京港の背後事例を考慮に入れ、東京

港の内外貿易貨物を一三〇〇万トンと推定、現有施設を檢討の上、本計画を決定したもので、昭和四年度から着手した。時給もインフレーション期であり、資材不足、労賃、物価高騰等の要素と努力、その一部は既に完成して施設の利用を計っているが、その後陸揚の状況も考慮し、本港の取捨貨物の実態を考慮し、一部修正して工費五八億圓、目下暫止に工事の再開を図っている。この工事の一端として品川港、大井埠頭が品川港の海上に構築されるのであるが、区民各位が一層この事業に関心をもちたい。

委員会だより

●学務委員会
七月十七日午前九時五十分から開会、中小学校の敷地予定地線から開会、

●建設委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

●文化委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

●民生委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

●環境改正特別委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

●民生委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

●文化委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

●民生委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

●環境改正特別委員会
七月十三日午後二時五十分から開会、

住民登録

住所の変更をするときは

去る七月一日に住民登録が行われましたが、登録の調協力を得ました。大変調協に努めました。この登録は登録方に直接関係のある色々の仕事の基礎資料になります。今後異動される場合は左の事項に御留意の上御協力をお願い致します。

- ①転入届 品川区以外のことから品川区内に移つてきた方は、転出の日から十四日以内に届出下さい。旧品川地区から在野地区へ移転した場合は、品川地区内へ移転した場合も転入届が必要です。
- ②転居届 旧品川地区内或は在野地区内へ移した時は十四日以内に届出下さい。
- ③変更届 住所は変わらなくても世帯構成上の変更、例えば世帯主などが変わったり、世帯主が死亡したり世帯を分離したりした場合、変更のあつた日から十四日

品川区の人口と世帯 (7月1日現在)

品川	世帯	49,036
	人口 (男)	98,859
	人口 (女)	94,621
在野	世帯	34,451
	人口 (男)	70,121
	人口 (女)	67,552
合計	世帯	83,487
	人口	331,153

